

実質化した人・農地プランの概要

秋田県羽後町
西馬音内地区

平地
農業地域

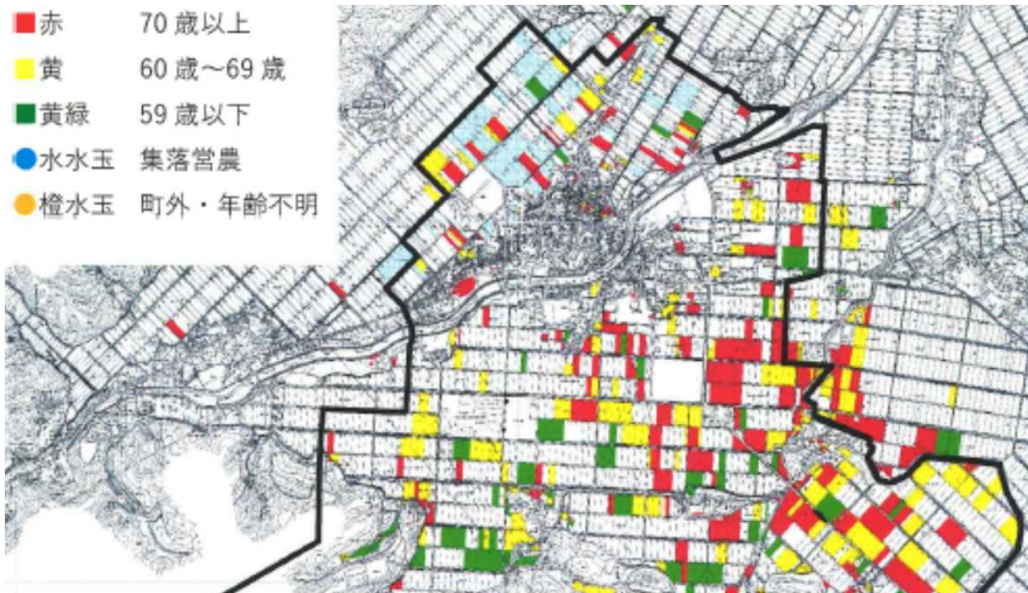
羽後町のホームページ https://www.town.ugo.lg.jp/administration/detail.html?id=1764&category_id=49

対象地区の状況

地区内の耕地面積	894.0ha
70歳以上の農業者の耕作面積	90.8ha
うち後継者未定	- ha
うち後継者不明	- ha
中心経営体	53経営体
現状の経営面積	390.4ha
今後の経営面積	500.1ha
今後の引受意向（拡大分）	109.7ha

年齢分布図面

- 赤 70歳以上
- 黄 60歳～69歳
- 黄緑 59歳以下
- 水玉 集落営農
- 橙水玉 町外・年齢不明



対象地の課題

西馬音内地区の担い手は十分確保されているが、今後は高齢化により農地集積は加速することが予想されるため、集落営農や法人等の経営基盤強化や人材確保が課題となる。

将来方針

西馬音内地区の水田利用については、中心経営体である集落営農組織や認定農業者が稲作を担い、そば、大豆、WCS稲等の土地利用型作物については、法人が担うとともに、認定新規就農者の受入れを促進することで対応していく。

今後は、地域集積協力金の申請・活用を目指すため、管内を4地区程度に細分化し、集積・集約化を進めていく。

将来方針を実現するための取組方針

管内の中心経営体以外の耕作者情報を世代別に地図へ落とし込み、現状を把握するとともに、アンケート等により農地の貸付意向を調査し、新プランへ対応可能な情報を収集する。

担い手への集積・集約化と担い手の分散錯圃を解消するため、利用権を交換しようとする人や契約が満了した際は、農地中間管理機構に貸し付けるよう対応していく。農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付けるよう対応していく。

農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、大戸・浅井地区において、農地の大区画化や畦畔補強等の基盤整備に取り組む。